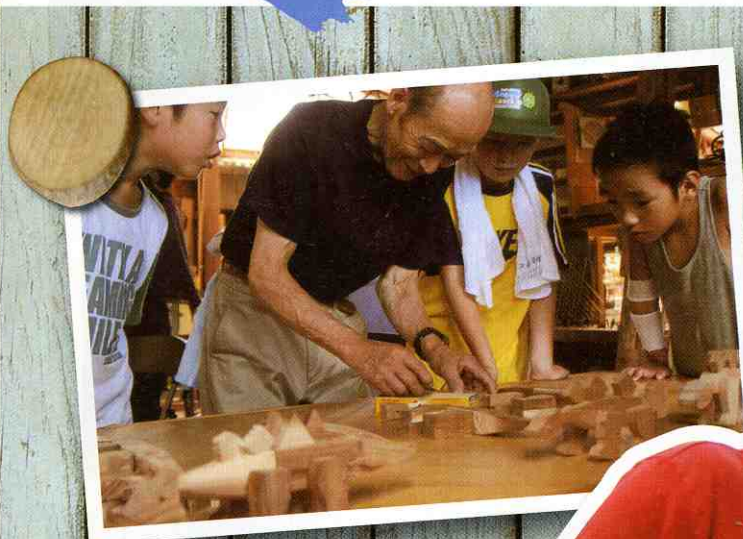


三重県立熊野古道センターからのてがみ

“The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center”

2010.夏号



森を感じて育てよう
みんなのエココロ♪



熊野古道センターでは、毎週日曜日にバリエーション豊かな木工教室を開催しています。題して「あなたも木工作家!その場でできる木工教室」です。

マイ箸づくりなどができる、『NPO法人海虹路』のひのきアート教室のほか、尾鷲ヒノキの端材を使っておもちゃや雑貨作りをしている『えびすや』の大形弥生さんの木工体験、川端一さんの木の動物づくり、『工房はたなか』の畑中昇さんによる尾鷲ヒノキの組み木遊びなどのエコな木工体験を、週代わりでお楽しみいただけます。

さて、よく耳にするエコという言葉ですが、具体的にどのような行動かをみなさん考えたことはありますか?大きく言うと、環境への負担を減らし、自然を保護することといったところでしょうか。この木工体験での材料は、すべて

尾鷲ヒノキの端材や自然素材!森の恵みをふんだんに利用することで、森林の大切さや尊さを実感することができます。エコってなんだろう?何ができるんだろう?と難しく考えてしまいがちですが、一人一人がこういったエコを感じる心『エココロ』を持つだけでも、エコ活動に繋がっていきますよね。地球に優しく接する気持ちはきっと、私たちや子どもたちの衣・食・住を豊かにしてくれるはずですよ。

たった1回で、『作って、感じて、考えて』楽しみながら様々なものを得ることができるこの木工教室は、事前申込みが不要なので、旅の思い出づくりだけでなく、休日のお昼下がりにも、お子さんとふらっと立ち寄って気軽にご参加いただけます。日曜日の午後は熊野古道センターに集合!!!!



森の恵で作ろう



大人気のマイ箸



先生が優しく指導してくれます。

こんなかわいい動物が作れます

動物以外にも色々な物を作ることができます!

各先生のスケジュールは、HPまたは電話でご確認ください。



熊野古道センター周辺の楽しみ方!!

熊野古道センター周辺の楽しみ方をご紹介します。

熊野古道センター前方に広がる『黒の浜』は尾鷲湾に面しており、潮干狩りも楽しめます! 干潮になると湾内に浮かぶ弁財島まで歩いて行けます。

後方には、みかん畑が広がっていて、そこからは尾鷲市内を一望できます。

隣の小川沿いを少し歩くと『村嶋不動滝』があります。小さな滝ですが水量が豊富で、傍には「不動明王」が奉られています。

周辺は自然がいっぱいで、耳を澄ませば小川のせせらぎや小鳥の鳴き声が聞こえる、癒しのスポットです。初夏の夜には、ホテルも観察できます。

隣にある『夢古道おわせ』では、海洋深層水のお風呂やお母ちゃんのランチバイキング、古民家カフェなどがあります。入口の朝採れ市場では、新鮮な無農薬野菜などが売られています。熊野古道を散策した後は、お風呂に入って、古民家カフェで海を見ながら休憩してはどうですか。

夏の訪れとともに熊野古道センター周辺をゆったり散策してみるのもいいですよ。



夢古道おわせ



海と山を眺めながら「ホッと一息」



みかん畑から尾鷲市内夜景も楽しめる穴場です。



朝採れ市場

帰りにお土産や新鮮野菜買って帰ろう!



熊野古道センター



あなたもマイナスイオンを浴びてみませんか。



浜辺を歩きながら、波の音、潮の香り、絶景をお楽しみ下さい。



黒の浜

紀伊山地の霊場と参詣道「一万人の参詣道『環境保全』活動」

和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

紀伊山地には、自然崇拜を起源とする神道の霊場「熊野三山」、中国から伝来した真言密教の霊場「高野山」、山岳信仰の聖地であり修験道の霊場である「吉野・大峯」という三つの霊場とそこに至る「参詣道」があります。

これら霊場と参詣道は、信仰の対象となるべき諸神、諸仏が千年の歴史を越え、今も人々の心の拠りどころとなっており、また、日本人の精神的な“ふるさと”とも呼べる場所でもあります。

現在、世界遺産は890箇所ありますが、信仰の道として登録されているものは、他にスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼路だけで、世界に2例しかない貴重な資産です。道の大部分は幅1メートル前後と狭く、石畳や階段となっている部分もありますが、多くは山中の土の道です。世界遺産の文化を育んだ紀伊山地は、年間を通して雨量が多く、台風などの災害にもたびたび見舞われる地域でもあり、道の傷みも確認されています。

「紀伊山地の霊場と参詣道」は、登録資産の総面積が約500ヘクタールと広範囲にわたり、特に参詣道の総延長は300キロメートル超に及びます。こうした条件の中で登録資産を大切に保全し次代に引き継いでいくためには、多くの人々の理解と協力により、継続性のある保全活動を展開していくことが重要です。

その本質的価値を再認識し、次世代に良好な状態で資産を承継するため、和歌山県では昨年に引き続き「一万人の参詣道『環境保全』活動」を実施します。

参詣道の環境保全活動の趣旨に賛同する企業・団体・グループ等で、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録された和歌山県内の参詣道及び周辺地域において行う環境保全活動です。参加希望の方は、環境保全活動の実施前に所定の届出書に必要事項を記入し、提出してください。「一万人の参詣道環境保全活動」の対象となる環境保全活動と認められる場合には、届出受理書と参加記念品を送付します。



詳しくは、<http://www.sekaiisan-wakayama.jp/fifth/index.html> をご覧ください。

※環境保全活動の内容によっては、法や条例による許可が必要となる場合もありますので、世界遺産センターへご相談下さい。

宿屋に関する情報提供のお願い

当センターでは今年度末、熊野古道を歩く旅人を“迎えた人々”をテーマに、企画展「熊野古道のおもてなし(仮)」の開催を予定し、現在調査を進めております。つきましては、熊野古道周辺で営まれていた宿屋やそれに関わる資料についてご存じのことがありましたら、ぜひ熊野古道センター (TEL:0597-25-2666、担当:アガタ) まで情報をお寄せください。



熊野市木本で営業していた酒基

酒基で使用していた朱塗膳



イベント情報 Event Info.

企画展 「シリーズ熊野のお祭り 紀北町の関船祭り」 7月11日(日)まで開催中!

紀北町海山区引本浦にて毎年秋に担がれている「お関船」が熊野古道センターにやってきました!!
 場所:企画展示室
 入場料:無料



熊野古道センターに「お関船」がやってきました!!

付属企画 紀伊長島の民話影絵「カンカラコボシと治郎左衛門」上演会

企画展最終日を紀北町の子どもたちが彩ります!!
 紀北町紀伊長島区にむかしから伝わる民話の、影絵や紙芝居を上演いたします。
 日時:7月11日(日) 第1回目上演 午後2時~2時30分、第2回目上演 午後3時~3時30分
 参加料:無料(申込不要)
 場所:熊野古道センター 展示棟映像ホール
 出演:かんからこぼし座(紀伊長島の子どもたちのグループです。)



悪さをするカンカラコボシ(河童)

企画展 「海のいきもの × 熊野灘」

熊野灘沿岸の地形は、入り組んだリアス式からなだらかな七里御浜まで変化に富み、多様な生き物が住んでいます。魚やウミガメ、ワニや貝などの生態を通じて、生命力あふれる熊野灘の魅力と、海と深くかかわってきた東紀州の風土を学んでください。
 日時:7月17日(土)~9月26日(日) 会期中無休
 場所:企画展示室
 入場料:無料



海の生きもの大集合

付属企画 シーカヤックでGO!! 海の味方、磯の楽しみ方

シーカヤックで尾鷲湾へ漕ぎ出し、磯の生き物や海のなかをのぞいてみましょう。
 熊野古道センター前を発着に、約2時間の冒険へ、さあ出発だ!!
 日時:7月24日(土) ①午前9時~ ②正午~ ③午後3時~ *各時間別開催
 参加料:1,500円(保険料、指導料を含む)
 定員:各10名(要申込)
 場所:熊野古道センター前~尾鷲湾内
 指導:シーカヤックスクール小山ハウス
 備考:雨天等のため延期の場合は8月1日(日)に開催



尾鷲湾の冒険に出発だ!!

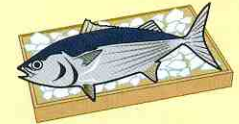
付属企画 魚ロボットがやって来る!!

ペットボトルや使えなくなったウエットスーツなど、海の廃品を利用した本物そっくりの魚ロボットたちが、ミニプールで泳ぎまわります。
 日時:7月25日(日) 午前11時~正午頃
 参加料:無料(申込不要)
 場所:芝生広場または交流棟
 講師:林正道氏(海洋学研究所)



料理教室 東紀州の魚の魅力再発見!「楽しく作って、美味しく食べて」

魚料理が苦手な方や、これから挑戦したい方必見!!「漁師料理の達人」甲斐崎圭さんに、手早くさばく方法や、魚の持ち味を活かした調理法を教えていただきます。
 日時:7月25日(日) 午前10時~午後1時
 参加料:1,500円
 定員:24名(要申込)
 場所:熊野古道センター 体験学習室
 講師:甲斐崎圭氏(作家)



交流イベント

8月4日(水)、5日(木) めざせ!!写真甲子園 熊野古道写真教室
 高校生を対象とした写真教室です。プロカメラマンから学ぶことができる貴重な機会となります。市街地や漁村で、仲間たちと一緒に思い切り写真を撮りましょう。
 ◇時間:8月4日(水) 午後1時30分集合、5日(木) 午後3時頃解散
 ◇参加料:2,000円(1泊3食付) ◇定員:30名(要申込) <<対象>>高校生
 ◇場所:三重県熊野市
 ◇講師:清水重蔵氏(社団法人日本写真家協会会員、プロカメラマン)

8月7日(土) あかり展
 夏の夜のひとときをヒノキの灯りとすごしませんか?尾鷲ひのきの灯りは、あなたの心にほのかな思いを届けます。当日は芝生広場から尾鷲港まつりの花火も見えてステキです。
 ◇時間:午後6時~8時 ◇参加料:無料 ◇定員:200名 ◇場所:熊野古道センター
 ◇主催:NPO法人海虹路、三重県立熊野古道センター
 ◇7月15日から熊野古道センターにて整理券配布スタート!

夏休みスペシャル体験教室

おじいちゃんおばあちゃんのお家にお帰ってくるみんなに耳より情報!熊野古道センターで遊んで、学んで、色んなものを作っちゃおう!!すべて午後1時~3時(受付)
 ※どの教室も、事前申込がいりません。それぞれの体験教室の開催日と参加料にご注意ください。

- ①お盆の香り「杉葉線香作り」教室
 ◇日時:8月14日(土) ◇参加料:100円
- ②尾鷲ヒノキで作っちゃおう!「その場でできるひのきアート」教室
 ◇日時:8月14日(土)・15日(日) ◇参加料:200円~
- ③熊野古道の緑をこの手に「シダの絵葉書作り」教室
 ◇日時:8月15日(日) ◇参加料:100円
- ④霊験あらたか? オリジナル「木の勾玉作り」
 ◇日時:8月13日(金) ◇参加料:200円



すべて午後1時~3時(受付)

体験学習

8月29日(日) 東紀州の四季を味わう料理教室「スタミナ料理」
 東紀州の旬の特産品を使った人気の料理教室です。
 ◇時間:午前10時~午後1時 ◇参加料:2,500円 ◇定員:24名(要申込)
 ◇場所:体験学習室 ◇講師:村林新吾先生と調理クラブのみなさん

9月25日(土) 熊野古道自然学校「神木の巨木と滝めぐり」
 横垣峠の登り口近くにある、県指定天然記念物のイヌマキ(樹齢600年)や原地神社の巨木、不動滝まで散策しながら秋の動植物を観察してみませんか?
 ◇時間:午前10時~午後4時 ◇参加料:300円(保険料含む) ◇定員:20名(要申込)
 ◇場所:御浜町神木 ◇講師:花尻薫当センター長

月別ひのきアート教室
 地域の特産品である「尾鷲ヒノキ」の間伐材やカンナグズからできる「ひのきシート」を使った、ものづくり体験教室です。お子さんと一緒に共同制作するもよし!贈り物にするもよし!
 ◇日時:6月27日(日)・7月4日(日):「帽子」*連続講座です。
 8月22日(日)、29日(日):「ころも虫」
 ◇参加料:6.7月 3,000円 8月 500円 ◇定員:各10名(要申込) ◇場所:体験学習室
 ◇講師:NPO法人海虹路

あなたも木作家!その場でできる木工教室
 ひのきアートの他、木のおもちゃづくりなどバリエーションを増やし、新たに「あなたも木作家!その場でできる木工教室」を開催中!尾鷲市を中心に体験教室を開催する講師による、小さいお子様から大人までお気軽に楽しめる教室です。
 ◇日時:毎週日曜日 午後1時~3時(受付時間) ◇参加料:200円~1,500円程度
 ◇場所:交流ロビー ◇講師:(週代わり)大形弥生氏、川端一氏、畑中昇氏、NPO法人海虹路

新しい古道の歩き方

9月12日(日) 「大台ヶ原ネイチャートレッキング(仮)」
 大台ヶ原の自然や景色を楽しむだけでなく、産業の道としても利用された時代の風景に触れながら、熊野地方と大台ヶ原の深い関わりを学びます。
 ◇時間:未定 ◇参加料:2,500円
 ◇定員:20名(要申込) ◇場所:大台ヶ原 ◇講師:松永敏氏

「お申し込みはお電話か、直接センターにてどうぞ! TEL:0597-25-2666」

熊野古道からの のがみ

熊野古道から
のがみ

15 通目

熊野川から

川の参詣道熊野川では、鳥や魚、草木の花々、新緑、川霧、夕焼け、虹、鳥の声、川風、瀬音など四季折々時間によって変化する自然の事象が、行きかう人に現在の生活で忘れてしまった懐かしい記憶と安らぎを感じさせてくれます。

その一つが、三反帆で川風を受けて進む川舟です。天候が良ければ夜明けから午前10時頃までは山風が上流から吹き、その後は夕方まで海風が下流から吹きます。かつてはこの風を利用して物資輸送が行なわれていました。

小鳥の声と船べりを叩く水音を聞きながらゆったりと進む帆走は心地よいものですが、兩岸の地形が複雑で次々と風向きが変わるため、使える範囲が限られるのが難点です。



ドロシモツケ



次は 紀北町の
福山 ふみ代さん



庄司 健さん (紀宝町)
林業経営

熊野川の四季を彩る草花には、洪水に耐えこの地方独自の進化をとげた固有種が数種ありますが、それらの中で春の花ドロシモツケが咲き終わり、梅雨の花ドロシモツケが咲き始めました。バラ科の低木で、淡紅色の小花を密生させたかれんで清楚な花が緑の中で際立っています。

熊野川で草花を楽しむには、小人数で川を遡るのが良いと思います。川の流れて乗つての川下りでは、船足が早すぎて小さな花が見えないのです。厳しい自然の中で懸命に生きる草花に興味をお持ちの方は、いっただお越し下さい。



ドロシモツケ

花尻 薫からの季節のたより No.15 「ナンジャモンジャの木」

「ナンジャモンジャとはそもそも、どんなもんじゃかというと、それはこんなもんじゃと持ち出されるものはいくつもある。」と牧野富太郎博士は随筆「ナンジャモンジャの木」で東京青山連兵場にあったヒトツバタゴを第一に、シマクロキ・カツラ・バクチノキなど各地でナンジャモンジャとされた木を挙げています。しかし博士は、これらはみんな、にせのナンジャモンジャであると笑っています。それなら本物のナンジャモンジャは、いったいどのどいつじゃ?という、それは千葉県下総の神崎神社のナンジャモンジャ。これこそ昔から名高い正真正銘のナンジャモンジャで本体はクスノキだと博士は記しています。



ナンジャモンジャの木

クスノキならどこにも在ると大抵の方は不思議に思います。民俗学の柳田国男氏は「ナンジャモンジャなどという珍しい名を、土地で大切に思う木に付けたのは、その木が神の宿る尊い木で、あからさまにその木の名を呼ぶのをおそれはばかったものであろう。」といひます。しかしその土地で見なれぬ珍木をナンジャモンジャと呼んだのも事実であります。

熊野市木本小学校の記念通りのナンジャモンジャの木は、牧野博士の、にせのナンジャモンジャの中にもでない木です。南国、熊野地方では見なれぬ珍木で、昭和59年10月に毎日新聞大阪本社の田中武文さんとの文通で尋ねられて紹介しました。木本小学校のナンジャモンジャの木は「マルバチシャノキ」で那智にもあります。博物学が専門の旧木本中学校長・土賀安平先生が、名前を尋ねられた人に「ナンジャモンジャの木」と教えてくれたそうで、谷川蒼人先生がよくご存知で「大切な木です」と話されていました。

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんの
ランチバイキング
尾鷲・東紀州の食材を
ふんだんに使った、地元
のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00
料金: 中学生以上 ……1,200円
子供 ……700円
乳幼児 ……無料
60歳以上 ……1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。
ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もがカホカです。

開館時間: 10:00~21:00
入浴料: 一般 ……600円
65歳以上 ……500円
4歳~小学生 ……300円
4歳未満 ……無料

お風呂あがりは、カフェでまったり♪

営業時間: 9:00~21:00 (ラストオーダー20:30)



- お車でお越しの方は…
国道42号線で尾鷲市内→矢の浜南交差点を海側へ曲がる→突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)
- 電車でお越しの方は…
■JR尾鷲駅下車→尾鷲市ふれあいバス「尾鷲駅」バス停留所→「熊野古道センター前」下車(バス乗車時間約10分)
■松阪駅
→南紀特急バス「熊野古道センター」終点下車(約2時間)



☆熊野古道センターニュースレター☆ “熊野古道センターからののがみ 2010年夏号”

- 発行日: 2010年6月21日 (季刊)
- 編集・発行: 三重県立熊野古道センター
(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当: 野田
- 連絡先:
〒519-3625 三重県尾鷲市向井字村島12-4
TEL 0597-25-2666
FAX 0597-25-2667
Mail info@kumanokodocenter.com
HP http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間: 午前9時~午後5時
- 入場料: 無料
- 休館日: 12月31日、1月1日
(その他メンテナンス時休館)